

がん看護学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 熊谷 歌織 (看護福祉学部 kaori@hoku-iryo-u.ac.jp) 三津橋 梨絵 (看護福祉学部)

【概要】

がん経験者や家族への看護実践に必要な主要な知識について講義形式で学びながら、人ががんとともに生きるという意味と看護の役割について考察する。

【学修目標】

1. がん患者の体験としてがんサバイバーシップの概念およびプロセスを説明できる。
2. がんの集学的治療の特徴と看護支援について説明できる。
3. がん患者に対する緩和ケアの重要性および内容を説明できる。
4. がん患者の家族に対する支援とその重要性について理解できる。
5. がん患者に対するエンド・オブ・ライフケアの概要を説明でき、支援について理解できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

熊谷歌織(看護師)、三津橋梨絵(がん看護専門看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関における看護師、がん看護専門看護師としての実務経験を活かし、がん経験者や家族がおかれる現状や課題、看護支援に関して具体例を交え、理解を深められるよう授業を行う。